

## これからの刈谷市のまちづくりのアイデアを具体的に検討しました

### ～ 第3回 市民まちづくり会議 開催レポート ～

2021年からスタートする新たな総合計画策定のための市民参加の一環で、令和元年6月にスタートした「市民まちづくり会議」。第3回目となる今回は、8月3日（土）に中央生涯学習センター（総合文化センター内）5階 501～503講座室で開催しました。第2回で話し合った「刈谷市の今後10年の重点課題」の解決に向けて、各分野でどんな施策・事業に取り組んでいく必要があるのか、その具体的なアイデアについて検討しました。以下、当日の様子をご紹介します。

#### ■ 第2回で議論した重点課題の確認・共有からスタート

第2回と同じメンバー・テーマで4つのグループに分かれ、検討を行いました。

まず、第2回に出された各分野の重点課題を復習しました。グループの進行役から前回の意見のポイントを説明するとともに、メンバーに重点課題の追加・修正の有無を確認した上で、本日議論すべき重点課題について共有しました。

整理された意見の中には、別のグループで出されたアイデアや、2月に開催した「かりや未来ワークショップ」の意見なども含まれており、幅広い視点で課題が洗い出されていることを確認しました。



#### ■ 重点課題を解決するための取組アイデアを自由に出し合いました

基本施策別に整理した重点課題を踏まえて、今後10年で改善・解決するための施策や事業のアイデアについて、じっくり時間をかけて意見交換を行いました。

各自、事前課題で調べてきた参考事例や取組アイデアや、第2回会議とかりや未来WSで既に出されていたアイデアもヒントにして意見カードに記入。取り上げる重点課題や対象者（ペルソナ）を明確に意識してアイデア出ししてもらうことで、生活者目線からの具体的な施策・事業アイデアが数多く出されました。一方で、メンバーの関心が低くてあまり意見が出ない基本施策もみられました。



#### ■ 全員で成果を共有し、重要と思われるアイデアに対してシール投票を実施

グループ別に約2時間、担当する分野について掘り下げて議論を行った後は、他グループの成果を自由に見学し、異なるメンバーと意見交換を行いました。さらにメンバー全員に10枚のシールを配り、賛同するアイデアなどにシールを使って投票。その結果から、参加者の評価や共感が高いアイデアを絞り込むことができました。

その後、グループに戻り、一日の振り返りを行うとともに、メンバーの中から発表者を決め、本日の話し合いのまとめを3分程度で発表しました。

最後に、次回のねらいや検討テーマを説明し、会議を終了しました。



#### 【主な意見（抜粋）】

分野	基本施策	取り上げた重点課題	具体的な取組アイデア（例）
都市 基盤	市街地・住環境	インフラの適正化	10年程度新設の建物を中止、既存建物の120%活用
	道路・交通	テクノロジーの活用	自動運転やMaaSなど施設連携により次世代モビリティサービスの構築を検討
	公園・緑化	公園の利活用	地域の食材を味わうイベント、生産者と消費者のつながりを目指したカフェ
教育 文化	学校教育	学校と地域の連携	スクールガードや読み聞かせだけでなく、授業補助や体験活動も地域住民で行う
	生涯学習	生涯教育	ハイウェイオアシスに「学び」+「ものづくり」施設
	歴史文化・観光	歴史文化・観光	小中学校の授業で歴史博物館見学を必須にする
産業 環境 安全	農業	食と農	こだわりの食材の販路、マルシェ開催
	商工業	技術技能の継承	大手企業内にての”モノづくりは人づくり”の講座・相談会
	環境保全	渋滞緩和	貸し出し自転車の設置（自由に使えるもの）
	防災	避難所体験会	一泊二日で避難所体験
福祉 協働	子育て	保育士の確保	保育士資格を持っている人にどのくらいの時間を働きたいか要望を聞いていく
	健康	主体的な健康づくり	高齢者が外出して運動 健康チェック
	障害児・者福祉	障害者への理解を学校で	小中学校での障害児・者との関わりの機会を設ける
	共存・協働	市民リソース活用	特技、ノウハウを持ちながら活かしていない市民を発掘・紹介

